

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	公告方法	電子公告により行います。 ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。 当社の公告掲載URLは次のとおりです。 https://www.kk-mitsuboshi.co.jp
定時株主総会	毎年6月	上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場
基準日		証券コード	5820
定時株主総会	毎年3月31日		
期末配当	毎年3月31日		
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号		
および特別口座の	三井住友信託銀行株式会社		
口座管理機関			
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番3号		
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部		
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部		
電話照会先	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00～17:00 (土・日・祝日を除く)		
インターネット	https://www.smtb.jp/personal/procedure/		
ホームページURL	agency/		

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



ホームページアドレス <https://www.kk-mitsuboshi.co.jp>



この冊子は、FSC®認証紙と、環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。



★★★
2022 Business Report

第78期 中間報告書

2022年4月1日～2022年9月30日

証券コード 5820



経営理念

環境・社会の変化を迅速かつ的確に捉え、その変化に伴うニーズに即応する技術開発を通じて、環境・社会に貢献するということをミッションとしています。

その基本に、コンプライアンスの徹底と品質向上・品質管理に尽力してまいります。

電線事業

素材を究めた信頼性で 業界トップシェアを獲得

多彩な製品ラインアップ。あらゆる現場のニーズに対応します。
キャブタイヤケーブルをはじめとする各種電線は、天然ゴム・合成ゴム・プラスチックなどを主原料としています。三ツ星では、これら素材の特性を最大限に引き出し、つねに高品質な製品を生産し続け、多くのお客様より高い信頼を獲得してきました。これからも製品ラインアップを豊富に取り揃えることで、あらゆる現場でのニーズに対応。過酷な用途に耐え、作業の効率化や安全性、省コスト化に貢献できる製品づくりを目指します。



ポリマテック事業

お客様との共同開発で高付加価値製品を創造

ポリマテック事業部門ではお客様からの商品企画について、その構想段階から製品設計、試作等の共同開発を行い、製品を納入するという受注生産を基本としてお客様とともに歩む姿勢を貫いています。
主製品としては建築用ガasket類・手摺り・配線カバー・幅木などで、施工性の良さと品質面等で高い評価を得ています。
また、環境対応というテーマからバイオプラスチックの製品化とプラスチック廃材の再生利用にも力を入れ取り組んでおり、社会的貢献の面からもその役割は重要なもので、さらなる取り組みを推進しています。



電熱線事業

電熱線分野で開発した高度の品質と技術を保有 高品質の製品とサービスを提供いたします

電熱線・抵抗線で線径0.04mmまでの極細線を量産製造し、品質面および技術面でお客から高い評価をいただいております。さらに、お客様のニーズに応えるため、0.02mmまでの極細線の製造も可能にしました。また、伸線および圧延のコア技術を多角的に展開し、モリブデン帯の製造やハステロイ、インコネル、インコロイといった高機能材料の伸線・圧延等にも積極的に取り組んでいます。



株主の皆様へ

To Our Stockholders

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
本年10月25日開催の臨時株主総会において取締役役に選任され、引き続き行われました臨時取締役会において、代表取締役社長に就任いたしました青木邦博でございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。
さて、当社グループ第78期第2四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年9月30日まで)の事業の概況をとりまとめましたので、ご報告申し上げます。

代表取締役社長 青木 邦博



■ 事業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症における行動制限の緩和等により社会経済活動に回復の動きが見受けられるものの、ウクライナ情勢による資源価格の高騰や供給面での変動に加え、急激な円安の進行など、依然として景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、ESG(環境(Environment)・社会(Social)・ガバナンス(Governance))を経営方針の中核に据え、4S(新)運動(新分野開拓・新製品創出・新顧客増強・新グローバル戦略推進)を推進し中長期的、持続的な成長を目指しております。新製品創出のため産学連携(大阪大学、北陸先端科学技術大学院大学等との共同研究)を継続しており、その成果を知的財産として活用する取り組みを進めております。新顧客増強・新グローバル戦略推進としては、ホームページにおいて、英語・中国語に加えて、インドネシア語対応、ベトナム語対応を行い、海外のお客様との繋がりを強化しております。

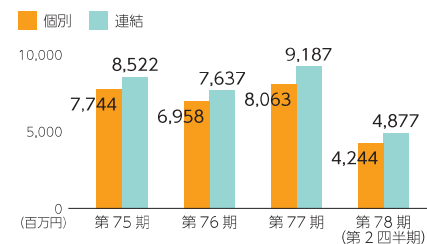
当社グループに関連する事業環境におきましては、設備投資においては持ち直しの動きが見られ、公共投資は底堅い動きとなりましたが、電線事業の業界およびポリマテック事業の業界におきましては材料価格の高騰および変動の影響を受け厳しい状況が続いております。一方で、電熱線事業は引き続き産業用ロボット向け抵抗器など抵抗器向け需要を中心に好調に推移しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,877百万円(前年同期比12.0%増)、営業利益は95百万円(前年同期比22.1%減)、経常利益は142百万円(前年同期比11.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失は107百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益175百万円)となりました。

財務ハイライト

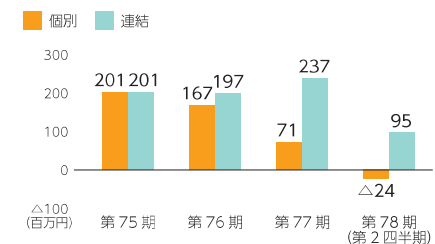
Financial Highlights

売上高



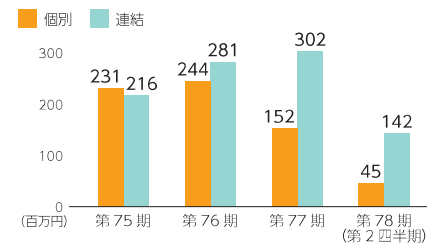
国内銅価格が高値で推移したことで、電線事業において増収となり、ポリマテック事業および電熱線事業においても前年同期に比べ増収となりました。

営業利益および営業損失



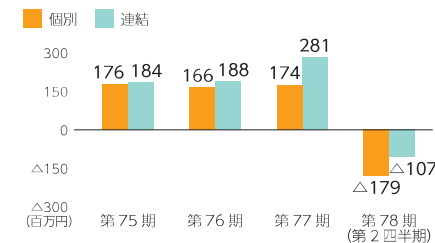
円安による、原材料および電気代を含むコストの値上げが重なり、グループ全体で前年同期に比べ減収となりました。

経常利益



材料価格の高騰や銅価格の急激な変動により、前年同期に比べ減収となりました。

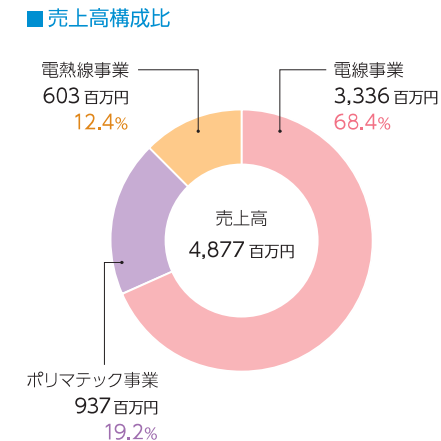
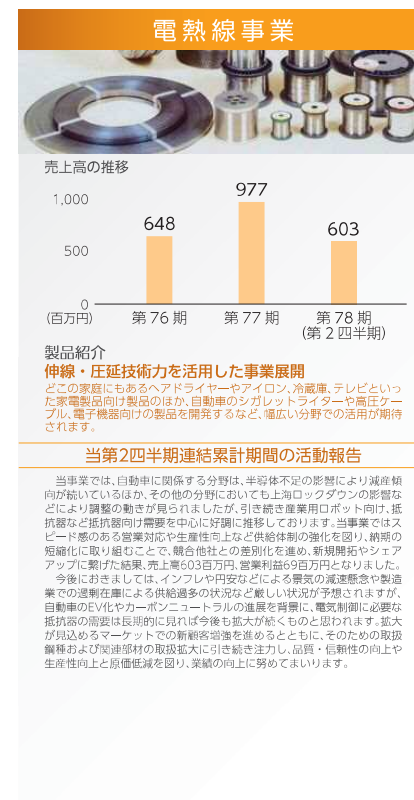
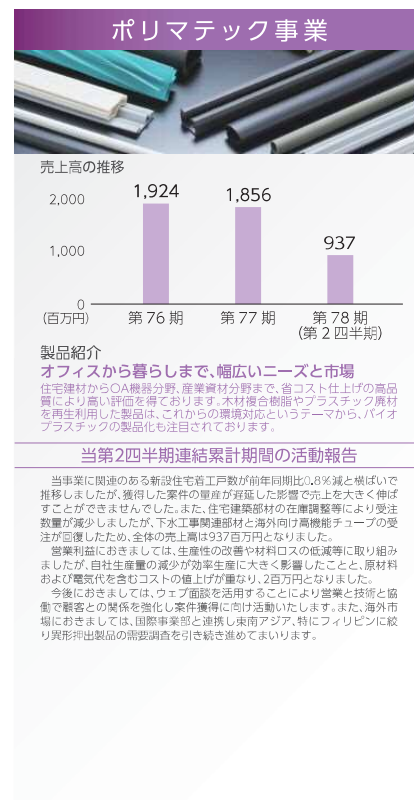
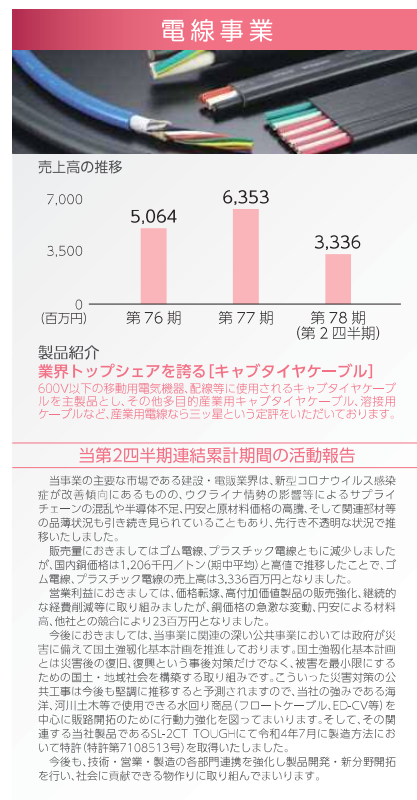
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益および親会社株主に帰属する四半期純損失



株主提案対応費用や和解金および訴訟費用として、特別損失が発生したため、親会社株主に帰属する四半期純損失となりました。

事業別の概況

Segment Information



1. 「SUBSEA TECH JAPAN 第4回海洋産業技術展」への出展

2022年9月14日(水)～16日(金)の3日間、東京ビッグサイトにて開催された、海洋技術・海洋ビジネスに関する専門展「SUBSEA TECH JAPAN 第4回海洋産業技術展」に出展いたしました。



展示会の様子



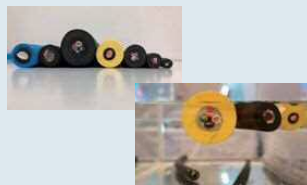
当社のブース

展示会来訪者 **1,258名**

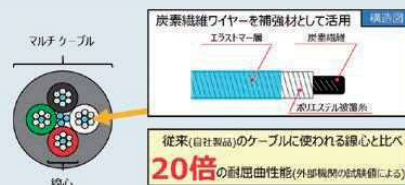
当社ブース来訪者 **91名(78社)**

展示内容の紹介

(1) フロートケーブル



(2) マルチケーブル (VR-CVCT-HS)



2. 特許関連

キャブタイヤケーブルおよびキャブタイヤケーブルの製造法 (SL-2CT TOUGH) 特許取得

目的は、オゾン劣化防止剤を用いることなく、耐候性に優れたキャブタイヤケーブルおよびその製造方法を提供することです。



登録日

令和4年7月20日

特許番号

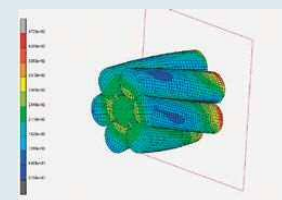
第7108513号

特許取得の技術を利用して
開発された「SL-2CT TOUGH」



大阪大学との特許出願

2018年より大阪大学大学院工学研究科と行ってきた、数値解析を用いた複合ケーブル構造の力学的特性評価と断線寿命の信頼性評価についての研究での成果を特許として申請いたしました。



ケーブルにかかる負荷を調べるシミュレーションの映像



共同研究報告会の様子

3. 当社の健康経営の取り組みについて

本格スタートした健康経営の一環で「がん検診の促進」の取り組みとして「健康診断項目に50歳以上男性の前立腺がん検診(PSA)の付帯」「婦人科検診(子宮がん・乳がん)の補助金」「婦人科検診時の特休の付与」「婦人科検診のススメ研修(全社)」を実施いたしました。

「婦人科検診のススメ研修(全社)」実施後のアンケート結果では「今後受検をしようと思う」という答えが約90%以上ありました。

今後も、成人病をはじめとする病の「早期発見・早期治療・早期社会復帰」を呼びかけ、従業員の健康へのリテラシーの向上、ワークエンゲージメントの向上を目指します。

健康経営とは

「健康経営」とは、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践することです。企業理念に基づき、従業員等への健康投資を行うことは、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらす、結果的に業績向上や株価向上につながると期待されます。

健康経営は、日本再興戦略、未来投資戦略に位置づけられた「国民の健康寿命の延伸」に関する取り組みの一つです。



＜婦人科検診研修アンケート＞

問1 今までに婦人科検診の受検をしたことがありますか？

- ① 子宮がん検診のみ受検した
- ② 乳がん検診のみ受検した
- ③ 子宮がん検診・乳がん検診の両方受検した
- ④ 子宮がん検診・乳がん検診の両方受検経験がない
- ⑤ 無回答



問2 婦人科検診の必要性を認識できましたか？

- ① 十分理解した
- ② 理解が浅い
- ③ 理解がなかった
- ④ 理解が難しい
- ⑤ 無回答

＜婦人科検診研修アンケート＞

問3 今後、子宮がん検診を受検しようと思いませんか？

- ① 今年度受検しようと思つた
- ② 来年以降受検しようと思つた
- ③ 受検しようと思つたが予定はしていない
- ④ 受検しようとは思わない
- ⑤ 無回答



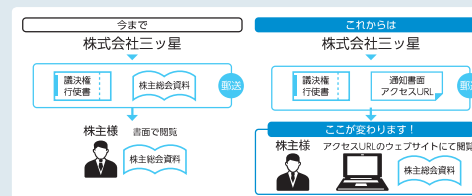
問4 今後、乳がん検診を受検しようと思いませんか？

- ① 今年度受検しようと思つた
- ② 来年以降受検しようと思つた
- ③ 受検しようと思つたが予定はしていない
- ④ 受検しようとは思わない
- ⑤ 無回答



4. 株主総会資料(招集通知)の電子提供制度について

- 会社法改正により、2023年3月以降の株主総会から、株主総会資料(招集通知)は原則ウェブサイト上でご確認いただくこととなります。



主な変更点

- ・ ウェブサイトへのアクセス方法等を記載した招集通知(通知書面)をお送りします。
- ・ 株主総会資料の全文はウェブサイトへアクセスすることで確認できます。
- ※ 議決権行使書紙は原則、今まで通りお送りします。

- インターネットのご利用が困難な株主様は、2022年9月1日以降、株主総会資料を書面で受領するための手続き(書面交付請求)をお取りいただくことができます。

Q 「書面交付請求」とは？

- A インターネットを利用することが困難な株主様を保護するための手続きです。お申し出いただいた株主様には株主総会資料を書面でお送りします。
なお、書面交付請求を行わなくても、URL等を記載した通知書面はお送りします。

Q 「書面交付請求」の受付期限は？

- A 株主総会の基準日までにお申し出が必要です。

Q お手続き方法は？

- A 証券会社にお申し出の場合は、保有銘柄の口座を開いている証券会社へお問い合わせください。
株主名簿管理人にお申し出の場合は、書面での受領を希望される銘柄ごとに申出書面のご提出が必要です。



⚠️ ご注意 一連のお手続きには費用がかかる場合があります。なお、書面交付請求は一定期間経過後に失効することがあります。

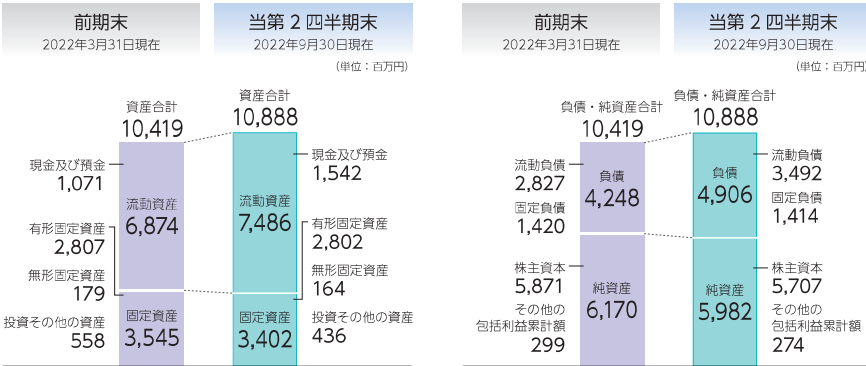
株主総会資料の電子提供に関するお問合せ先

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-533-600 (フリーダイヤル)
受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日を除く)
<https://www.smbj.jp/personal/procedure/agency/>

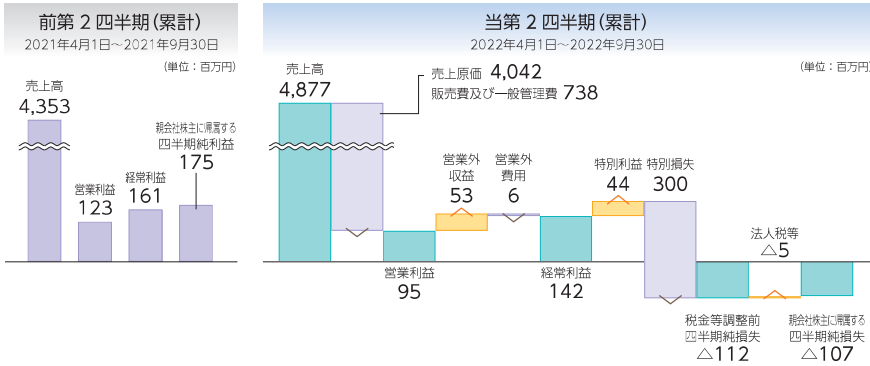


連結財務諸表

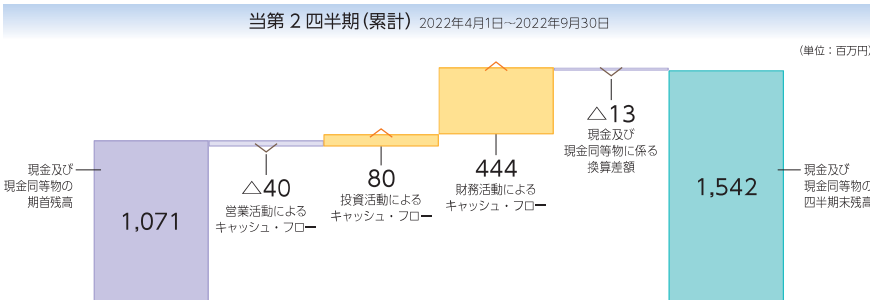
■ 連結貸借対照表



■ 連結損益計算書



■ 連結キャッシュ・フロー計算書



ポイント解説

- 総資産額
前期末に比べ、4億69百万円増加し、108億88百万円となりました。
これは主に現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加があったことによるものです。
- 負債総額
前期末に比べ、6億57百万円増加し、49億6百万円となりました。
これは主に短期借入金、未払金の増加があったことによるものです。
- 純資産総額
前期末に比べ、1億88百万円減少し、59億82百万円となりました。
これは主に利益剰余金の減少があったことによるものです。

株式の状況／会社概要

Stock Information / Corporate Profile

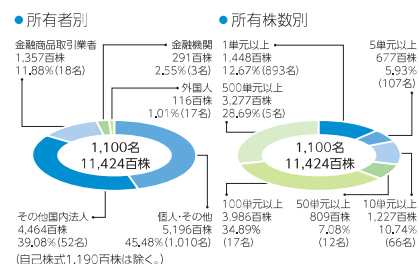
株式の状況 (2022年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 3,800,000株
- 発行済株式の総数 1,147,640株
(自己株式119,015株を除く。)
- 株主数 1,291名
- 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
スリースター 有限会社	92,630	8.07
株式会社SBI証券	64,800	5.65
合同会社サクセスインベストメント	62,600	5.45
アダージキャピタル有限責任事業組合 (組合員 株式会社シンシア工務店)	54,600	4.76
本多敏行	53,100	4.63
有限会社杉山製作所	48,000	4.18
有限会社ツカモト	41,500	3.62
津田電線株式会社	38,600	3.36
松井証券株式会社	32,800	2.86
上田真由美	29,500	2.57

(注) 1.上記のほか、当社が自己株式119,015株を保有しております。
2.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株式分布状況 (単元株以上)



主要な事業内容

当社グループは、次の製品の製造・販売および仕入商品の販売を行っております。

事業部門	主 要 品 目
電線事業	天然ゴムキャブタイヤケーブル、合成ゴムキャブタイヤケーブル、架橋ポリエチレンケーブル、溶接用ケーブル、制御用ケーブル、プラスチックキャブタイヤケーブル、プラスチックコード、その他
ポリマテック事業	プラスチック押出成形品、射出成形品、真空成形品、高機能チューブ、LED関連商品、その他
電熱線事業	電熱線・帯、その他

役員 (2022年10月25日現在)

代表取締役社長 青木 邦博

取締役 渡邊 雅之 (社外)

取締役 (監査等委員) 加藤 正憲 (社外)

取締役 (監査等委員) 吉 永 久 三 (社外)

(注) 1.取締役(監査等委員)渡邊雅之氏、加藤正憲氏および吉永久三氏は、社外取締役であります。
2.取締役(監査等委員)渡邊雅之氏、加藤正憲氏および吉永久三氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員であります。

従業員の状況(当社グループ) (2022年9月30日現在)

(連結) 238名 (91名)

(個別) 163名 (68名)

(注) 従業員数は就業員数であり、パートおよび嘱託社員は()内に6ヶ月間の平均人員を外数で記載しております。

ネットワーク

Network



主要な事業所

当社

本 社 〒541-0053
大阪市中央区本町一丁目4番8号
エスリードビル本町5階
TEL 06(6261)8881(代表)

大 阪 支 店 (電線事業部・ポリマテック事業部)
〒541-0053
大阪市中央区本町一丁目4番8号
エスリードビル本町5階
TEL 06(6261)8884(代表)

(電線事業部)
(ポリマテック事業部)
TEL 06(6261)8885(代表)

東 京 支 店 (電線事業部・ポリマテック事業部)
〒103-0014
東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目2番1号
リーラック第一ビル
6階 (電線事業部)

7階 (ポリマテック事業部)
TEL 03(6897)8660(代表)

(電線事業部)
(ポリマテック事業部)
TEL 03(6897)8663(代表)

九 州 支 店 〒815-0081
福岡市南区那の川一丁目9番19号
TEL 092(526)2615(代表)

名 古 屋 支 店 〒465-0095
名古屋市名東区専社一丁目253番地
一社プラザ4階402号室
TEL 052(760)4636(代表)

滋 賀 工 場 〒520-3306
滋賀県甲賀市甲南町柑子1061番地3
TEL 0748(86)6104(代表)

羽 曳 野 工 場 〒583-0867
大阪府羽曳野市河原城534番地
TEL 072(939)4561(代表)

シルバー鋼機株式会社

本 社 〒103-0014
東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目2番1号
リーラック第一ビル7階
TEL 03(5651)7220(代表)

MITSUBOSHI PHILIPPINES CORPORATION

(フィリピン共和国) LOT11 BLOCK12 FIRST CAVITE
INDUSTRIAL ESTATE
BRGY.LANGKAAN,DASMARINAS,
CAVITE,PHILIPPINES4114